

愛媛新聞(5月24日)に掲載されました。

幸せ願い患者にスズラン

松山 全日空乗務員ら病院訪問



全日空の客室乗務員らが23日、松山市文京町の松山赤十字病院を訪れ、北海道千歳市で育ったスズランの切り花50本と、香り付きのしおり400枚を入院患者らにプレゼントした。「再び幸せが訪れる」と

全日空の職員からスズランの花としおりを受け取る子どもら。23日午後、松山市文京町

の花言葉を持つスズランで元気になってもらおうと、全日空グループが1956年から全国の赤十字病院と関連施設に贈っている。松山赤十字病院は58回目、新型コロナウイルス感染症の影響により客室乗務員らが直接届けるのは4年ぶり。

贈呈式の後、客室乗務員の白石陽心さん(34)＝松山市出身＝と松山空港スタッフの西野彩花さん(23)が小児科などの病室を訪問。「お大事にしてください」「香りを楽しめますよ」と声をかけながら、切り花としおりを患者に手渡した。

受け取った松山市の久保田藍ちゃん(3)は「かわい

い」と喜び、母親の葉奈さん(29)は「急な入院で(子どもが)しょんぼりしていたけど笑顔が見られてよかった」と話していた。同市の鶴村里紗さん(29)は「入院中は外出できず花を見る機会がないのでうれしい。いい香りがして気分転換になった」とほほ笑んでいた。

(野田真子)

掲載許可番号：d20230529-06